

第14回 在宅医療について

1 調査目的

在宅医療の認知度や県民の視点による在宅医療提供体制づくりの課題を把握し、今後の施策に活かすため、本調査を実施します。

(担当課:保健福祉部 医療政策課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

823名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和7(2025)年1月28日～2月10日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 483 名 (回答率58.7%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	201	41.6 %
女性	276	57.1 %
未回答	6	1.2 %
計	483	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.2 %
20代	10	2.1 %
30代	33	6.8 %
40代	125	25.9 %
50代	133	27.5 %
60代	115	23.8 %
70代以上	66	13.7 %
計	483	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	245	50.7 %
県南	137	28.4 %
県北	101	20.9 %
計	483	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

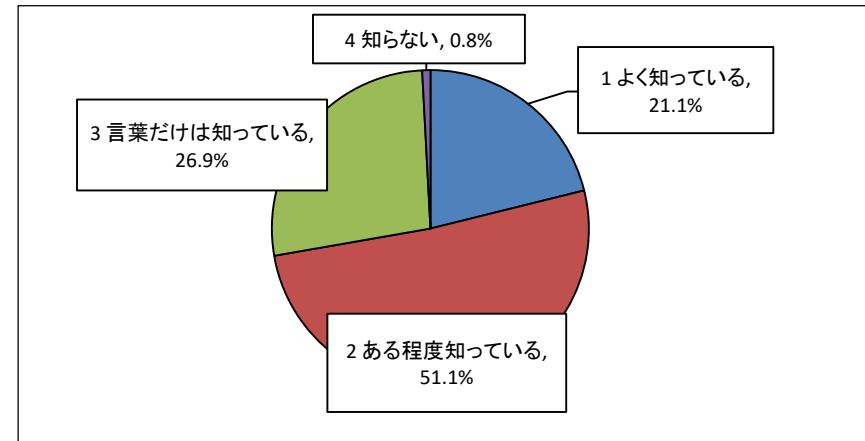
問1 あなたは、「在宅医療」(※)を知っていますか。

※「在宅医療」とは、身体の機能が低下し、通院が困難な患者さんが、自宅等で療養を希望した場合に、医師の訪問診療や往診、訪問看護などの医療サービスを自宅等で受けながら療養生活を送ることです。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 よく知っている	21.1%	102
2 ある程度知っている	51.1%	247
3 言葉だけは知っている	26.9%	130
4 知らない	0.8%	4

(n = 483)

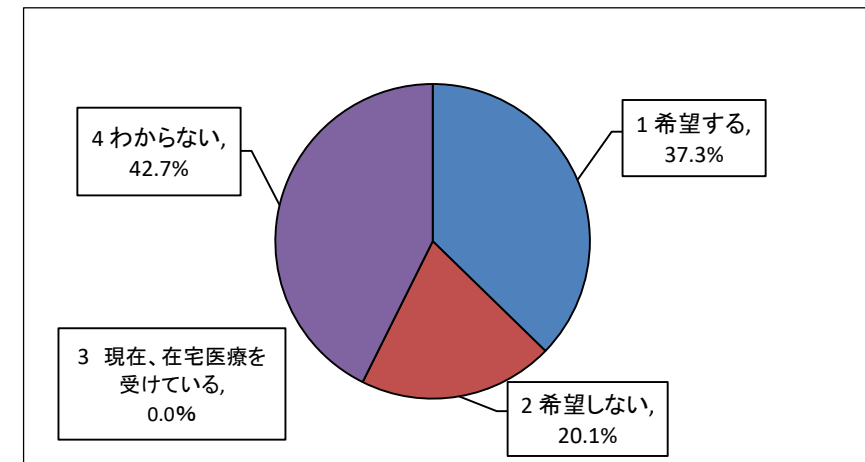


問2 あなたが、病気やけがで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を受けることを希望しますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 希望する	37.3%	180
2 希望しない	20.1%	97
3 現在、在宅医療を受けている	0.0%	0
4 わからない	42.7%	206

(n = 483)



問3 (問2で選択肢2を選んだ方にお聞きます。)

あなたが、在宅医療を受けることを希望しない理由は何ですか。

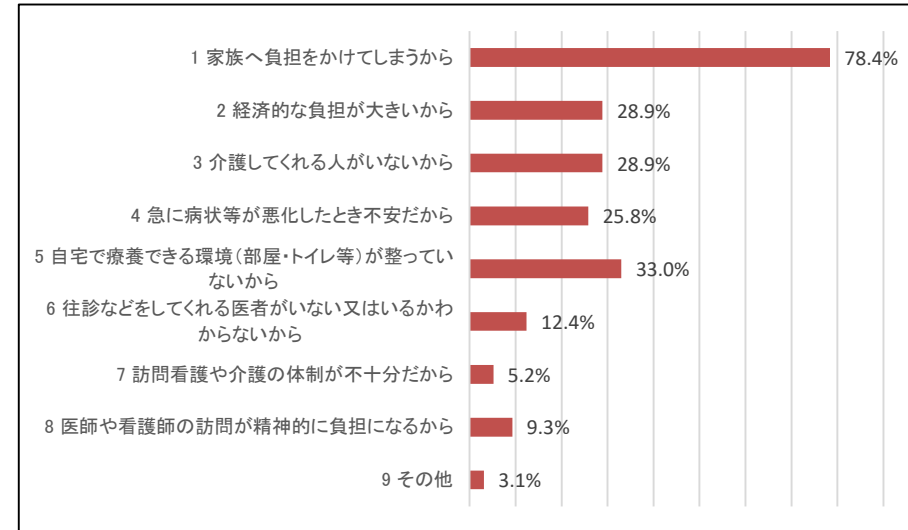
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 家族へ負担をかけてしまうから	78.4%	76
2 経済的な負担が大きいから	28.9%	28
3 介護してくれる人がいないから	28.9%	28
4 急に病状等が悪化したとき不安だから	25.8%	25
5 自宅で療養できる環境(部屋・トイレ等)が整っていないから	33.0%	32
6 往診などをしてくれる医者がいない又はいるかわからないから	12.4%	12
7 訪問看護や介護の体制が不十分だから	5.2%	5
8 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	9.3%	9
9 その他	3.1%	3

(n = 97)

【その他の主な意見】

- ・家にいると、家事をしなくてはならないから、病院にいた方が、ゆっくり休めると思う
- ・そもそも医者がいない



問4 在宅医療についてご自身で調べるとき、どのような方法で情報を得たいと思いますか。

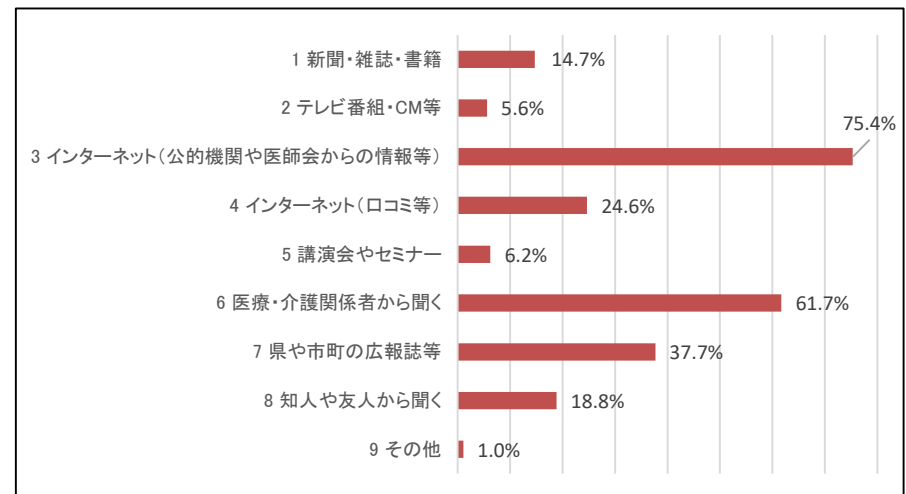
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 新聞・雑誌・書籍	14.7%	71
2 テレビ番組・CM等	5.6%	27
3 インターネット(公的機関や医師会からの情報等)	75.4%	364
4 インターネット(口コミ等)	24.6%	119
5 講演会やセミナー	6.2%	30
6 医療・介護関係者から聞く	61.7%	298
7 県や市町の広報誌等	37.7%	182
8 知人や友人から聞く	18.8%	91
9 その他	1.0%	5

(n = 483)

【その他の主な意見】

- ・近くに訪問看護センターがあるため、出向いて確認したい
- ・市役所の窓口に行きに行く



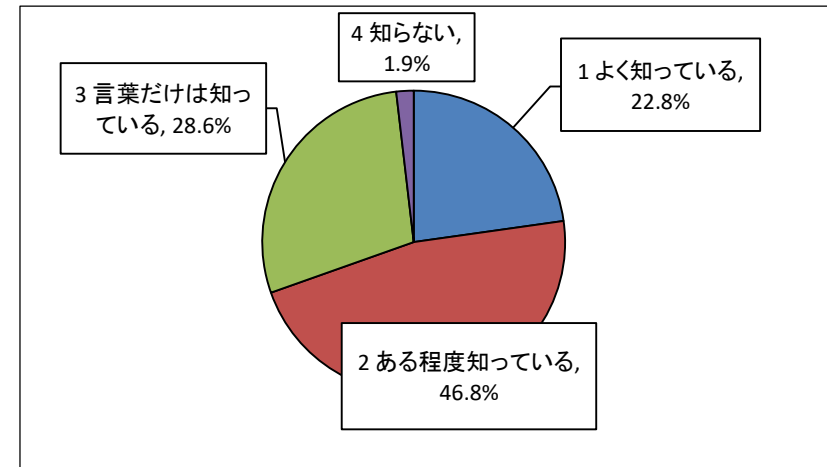
問5 あなたは、「訪問看護」(※)を知っていますか。

※「訪問看護」とは、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアの提供(健康状態のチェックや医療処置)を行い、療養生活を支援するものです。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 よく知っている	22.8%	110
2 ある程度知っている	46.8%	226
3 言葉だけは知っている	28.6%	138
4 知らない	1.9%	9

(n = 483)

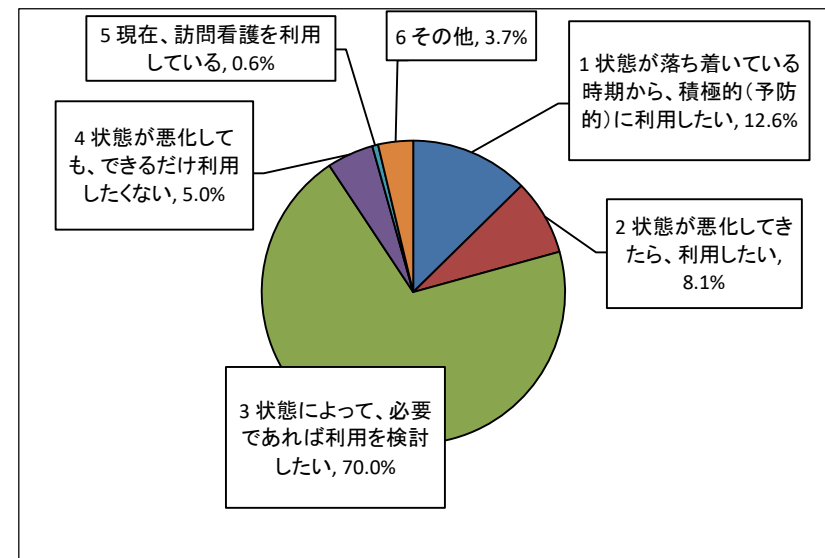


問6 あなたが、病気やけがで長期の治療・療養が必要になった場合、訪問看護を利用したいと思いますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 状態が落ち着いている時期から、積極的(予防的)に利用したい	12.6%	61
2 状態が悪化してきたら、利用したい	8.1%	39
3 状態によって、必要であれば利用を検討したい	70.0%	338
4 状態が悪化しても、できるだけ利用したくない	5.0%	24
5 現在、訪問看護を利用している	0.6%	3
6 その他	3.7%	18

(n = 483)



【その他の主な意見】

- ・その時になってみないとわからない
- ・家族への負担を考えると、医療機関や施設などに入所したい

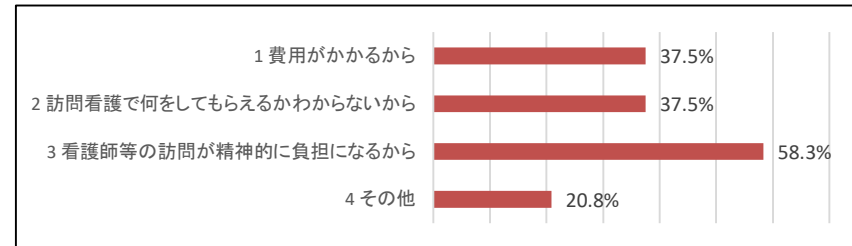
問7 (問6で選択肢4を選んだ方にお聞きます。)

あなたが、訪問看護の利用を希望しない理由は何ですか。

(3つまで回答)

	構成比	回答数
1 費用がかかるから	37.5%	9
2 訪問看護で何をしてもらえるかわからないから	37.5%	9
3 看護師等の訪問が精神的に負担になるから	58.3%	14
4 その他	20.8%	5

(n = 24)



【その他の主な意見】

- ・安心して生活している環境に他人に入られたくない
- ・家に来てもらうには、まず家の環境を整えなければならないことが負担

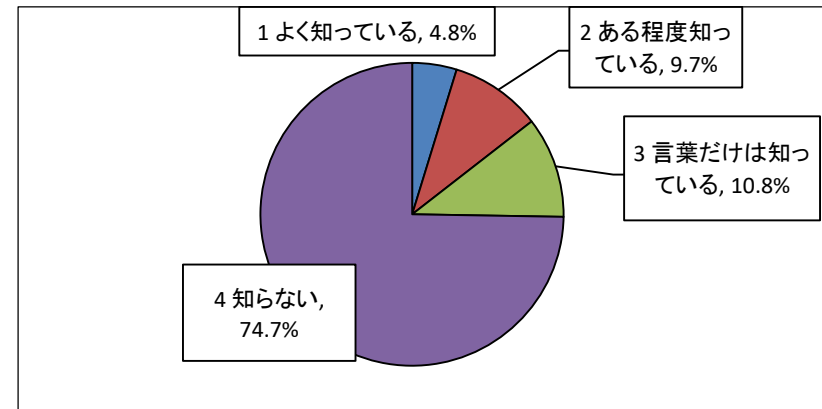
問8 あなたは、「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」(※)を知っていますか。

※「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」とは、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、信頼できる人と繰り返し話し合い、共有することです。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 よく知っている	4.8%	23
2 ある程度知っている	9.7%	47
3 言葉だけは知っている	10.8%	52
4 知らない	74.7%	361

(n = 483)



問9 あなたは、もしもの時に受けたい医療や介護について家族や身近な人と話し合ったことがありますか。その際は、どのようなことをきっかけに行いましたか。

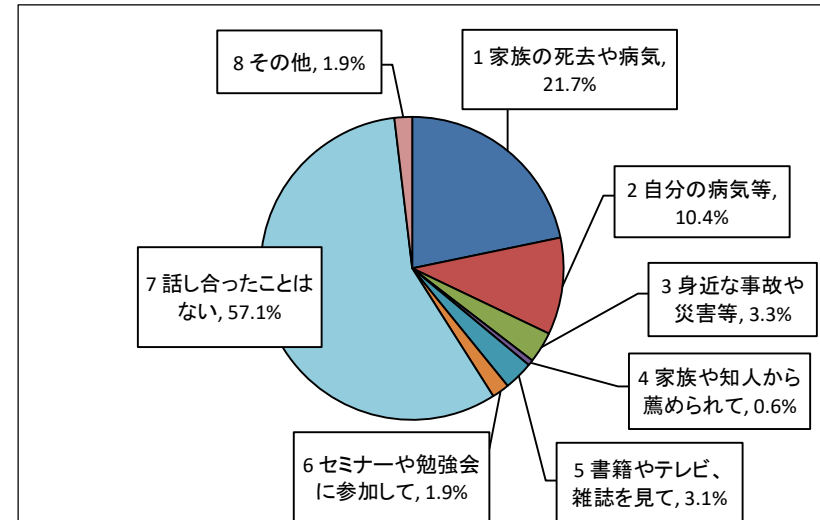
(1つ回答)

	構成比	回答数
1 家族の死去や病気	21.7%	105
2 自分の病気等	10.4%	50
3 身近な事故や災害等	3.3%	16
4 家族や知人から薦められて	0.6%	3
5 書籍やテレビ、雑誌を見て	3.1%	15
6 セミナーや勉強会に参加して	1.9%	9
7 話し合ったことはない	57.1%	276
8 その他	1.9%	9

(n = 483)

【その他の主な意見】

- ・生命保険の契約時
- ・終活を考える中で、もしもの時の医療・介護等について話をした



問10 あなたは、もしもの時に受けたい医療や介護について家族や身近な人と話し合うための情報をどこから得たいと思いますか。

(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 新聞・雑誌・書籍	18.0%	87
2 テレビ番組・CM等	9.1%	44
3 インターネット（公的機関や医師会からの情報等）	70.4%	340
4 インターネット（口コミ等）	18.4%	89
5 講演会やセミナー	13.0%	63
6 医療・介護関係者から聞く	61.1%	295
7 県や市町の広報誌等	40.0%	193
8 知人や友人から聞く	21.9%	106
9 その他	1.2%	6

(n = 483)

【その他の主な意見】

- ・まずはインターネットで調べて改めて市役所に電話で問い合わせたい
- ・地域包括支援センター

